

こどもの権利条例 前文(改訂案)

わたしたちが暮らすこの二宮町には、吾妻山や相模湾に代表される豊かな自然と、都会すぎず田舎すぎない生活のしやすさがあります。そして、この町には親切な人たちが多く、安心して過ごせるあたたかさを感じられる日常があると感じています。この恵まれた環境の中で、わたしたちこどもも町の自然を大切にし、この町がますます魅力的な場所になることを願っています。

わたしたちの日常生活の中には、喜びや安心、楽しさを感じる場面ばかりではなく、納得できないことや悩むこと、不満に思うこともあり、いろいろなことを感じ経験しながら成長しています。

家では、自分らしい時間を過ごせたり安心できたりする場所だと思える一方、「こどもだから」という理由で思いや声が届かないと感じることもあります。そして、人によっては家が安心できる場と思えない場合もあり、すべての人にとって自分を守れる環境があることが大切だと思います。学校では、授業が楽しいと感じる時もあれば、難しすぎたり簡単すぎたりすることがあり、お互い教え合ったりして学びを充実させたいと思うこともあります。地域や公園では、自由に遊びたいという気持ちがあるのに、大きな声や遊び方を制限されたり、安全のためと言われながらも不便や不満を感じることもあります。

多くのこどもたちは、この町が好きで「ここで暮らしたい」という気持ちを持っていると思います。しかし、そうではない、今の暮らしや環境に満足できていないこどももいるでしょう。そうしたそれぞれの思いを持ったうえで、わたしたちは町の一員として、自分たちのくらしに関わることについて、意見を言い、それを聞いてもらい、一緒に考え、理由を理解しながら決めていきたいと願っています。

わたしたちこどもは、ただ守られるだけの存在でありたくありません。一人ひとりが大切にされる権利、自分の思いを表す権利、参加する権利を持っています。わたしたちは、自分の考えや気持ちを大切にしながら、挑戦し、時には失敗して成長していきたいと思っています。そのためには、安全で安心できる場所、自分の気持ちや意見を受け止めてくれる大人や友だち、そして互いの声を平等に尊重する環境が必要だと考えています。

わたしたちは、大人も子どもも共に尊重し合い、意見を言うことが苦手な人、言葉にできない思いを持つ人も、年齢に関係なく一人ひとりの声を大切にする町を目指します。そして、子どもたちが自分らしく自然の中でのびのびと暮らせる町をつくっていきます。この条例は、二宮町の子ども会議を通じて子どもの声を反映したものであり、「子どもが社会を構成する一員である」ということを中心に据えています。

すべての子どもの権利が守られ、尊重され、その思いがいかされる社会を実現するために、この条例を定めます。

二宮町は、この条例を基に、子どもが社会を構成する重要な一員であることを認識し、その声を尊重しながらまちづくりを進めていきます。私たちは、すべての子どもが自分らしく安心して暮らし、成長できる環境を整えるために、町全体が協力してできることを積み重ねていきます。

子どもたちが表明した意見や願いを実現するため、町は子どもと大人が一緒に話し合い、学び合い、協力して行動する場を積極的に作り出します。そして、子どもの権利が守られ、生かされる施策を具体的に進めることで、子どもだけでなく、すべての町民が住みやすい環境を目指します。

二宮町は、この条例を通じて子どもたちとの対話を深め、自然豊かな環境の中、子どもたちの声がいかにされる共生社会の実現のために努力を続けていきます。これからも、子どもも大人もおたがいを尊重し、ともに成長していける町をつくるために、できることから一歩ずつ進めていきます。

こどもの権利条例 前文(改訂案)

わたしたちが暮らすこの二宮町には、吾妻山や相模湾に代表される豊かな自然と、都会すぎず田舎すぎない生活のしやすさがあります。そして、この町には親切な人たちが多く、安心して過ごせるあたたかさを感じられる日常があると感じています。この恵まれた環境の中で、わたしたちこどもも町の自然を大切にし、この町がますます魅力的な場所になることを願っています。

わたしたちの日常生活の中には、喜びや安心、楽しさを感じる場面ばかりではなく、納得できないことや悩むこと、不満に思うこともあり、いろいろなことを感じ経験しながら成長しています。

家では、自分らしい時間を過ごせたり安心できたりする場所だと思える一方、「こどもだから」という理由で思いや声が届かないと感じることもあります。そして、人によっては家が安心できる場と思えない場合もあり、すべての人にとって自分を守れる環境があることが大切だと思います。学校では、授業が楽しいと感じる時もあれば、難しすぎたり簡単すぎたりすることがあり、お互い教え合ったりして学びを充実させたいと思うこともあります。地域や公園では、自由に遊びたいという気持ちがあるのに、大きな声や遊び方を制限されたり、安全のためと言われながらも不便や不満を感じることもあります。

多くこどもたちは、この町が好きで「ここで暮らしたい」という気持ちを持っています。しかし、そうではない、今の暮らしや環境に満足できていないこどももいるでしょう。そうしたそれぞれの思いを持ったうえで、わたしたちは町の一員として、自分たちのくらしに関わることについて、意見を言い、それを聞いてもらい、一緒に考え、理由を理解しながら決めていきたいと願っています。

わたしたちこどもは、ただ守られるだけの存在でありたくありません。一人ひとりが大切にされる権利、自分の思いを表す権利、参加する権利を持っています。わたしたちは、自分の考えや気持ちを大切にしながら、挑戦し、時には失敗して成長していきたいと思っています。そのためには、安全で安心できる場所、自分の気持ちや意見を受け止めてくれる大人や友だち、そして互いの声を平等に尊重する環境が必要だと考えています。

わたしたちは、大人も子どもも共に尊重し合い、意見を言うことが苦手な人、言葉にできない思いを持つ人も、年齢に関係なく一人ひとりの声を大切にする町を目指します。そして、子どもたちが自分らしく自然の中でのびのびと暮らせる町をつくっていきます。この条例は、二宮町の子ども会議を通じてこどもの声を反映したものであり、「子どもが社会を構成する一員である」ということを中心に据えています。

すべてのこどもの権利が守られ、尊重され、その思いがいかされる社会を実現するために、この条例を定めます。

二宮町は、この条例を基に、子どもが社会を構成する重要な一員であることを認識し、その声を尊重しながらまちづくりを進めていきます。私たちは、すべての子どもが自分らしく安心して暮らし、成長できる環境を整えるために、町全体が協力してできることを積み重ねていきます。

子どもたちが表明した意見や願いを実現するため、町は子どもと大人が一緒に話し合い、学び合い、協力して行動する場を積極的に作り出します。そして、こどもの権利が守られ、生かされる施策を具体的に進めることで、子どもだけでなく、すべての町民が住みやすい環境を目指します。

二宮町は、この条例を通じて子どもたちとの対話を深め、自然豊かな環境の中、子どもたちの声がいかにされる共生社会の実現のために努力を続けていきます。これからも、子どもも大人もおたがいを尊重し、ともに成長していける町をつくるために、できることから一歩ずつ進めていきます。

こどもの権利条例 前文(改訂案)

わたしたちが暮らすこの二宮町には、吾妻山や相模湾に代表される豊かな自然と、都会すぎず田舎すぎない生活のしやすさがあります。そして、この町には親切な人たちが多く、安心して過ごせるあたたかさを感じられる日常があると感じています。この恵まれた環境の中で、わたしたちこどもも町の自然を大切にし、この町がますます魅力的な場所になることを願っています。

わたしたちの日常生活の中には、喜びや安心、楽しさを感じる場面ばかりではなく、納得できないことや悩むこと、不満に思うこともあり、いろいろなことを感じ経験しながら成長しています。

家では、自分らしい時間を過ごせたり安心できたりする場所だと思える一方、「こどもだから」という理由で思いや声が届かないと感ずることもあります。そして、人によっては家が安心できる場と思えない場合もあり、すべての人にとって自分を守る環境があることが大切だと思います。学校では、授業が楽しいと感じる時もあれば、難しすぎたり簡単すぎたりすることがあり、お互い教え合ったりして学びを充実させたいと思うこともあります。地域や公園では、自由に遊びたいという気持ちがあるのに、大きな声や遊び方を制限されたり、安全のためと言われながらも不便や不満を感じることがあります。

多くのこどもたちは、この町が好きで「ここで暮らしたい」という気持ちを持っていると思います。しかし、そうではない、今の暮らしや環境に満足できていないこどももいるでしょう。そうしたそれぞれの思いを持ったうえで、わたしたちは町の一員として、自分たちの暮らしに関わることについて、意見を言い、それを聞いてもらい、一緒に考え、理由を理解しながら決めていきたいと願っています。

わたしたちこどもは、ただ守られるだけの存在でありたくありません。一人ひとりが大切にされる権利、自分の思いを表す権利、参加する権利を持っています。わたしたちは、自分の考えや気持ちを大切にしながら、挑戦し、時には失敗して成長していきたいと思っています。そのためには、安全で安心できる場所、自分の気持ちや意見を受け止めてくれる大人や友だち、そして互いの声を平等に尊重する環境が必要だと考えています。

わたしたちは、大人もこどもも共に尊重し合い、意見を言うことが苦手な人、言葉にできない思いを持つ人も、年齢に関係なく一人ひとりの声を大切にする町を目指します。そして、こどもたちが自分らしく自然の中でのびのびと暮らせる町をつくっていきます。この条例は、二宮町のこども会議を通じてこどもの声を反映したものであり、「こどもが社会を構成する一員である」ということを中心に据えています。

すべてのこどもの権利が守られ、尊重され、その想いがいかされる社会を実現するために、この条例を定めます。

二宮町は、この条例を基に、こどもが社会を構成する重要な一員であることを認識し、その声を尊重しながらまちづくりを進めていきます。私たちは、すべてのこどもが自分らしく安心して暮らし、成長できる環境を整えるために、町全体が協力してできることを積み重ねていきます。

こどもたちが表明した意見や願いを実現するため、町はこどもと大人と一緒に話し合い、学び合い、協力して行動する場を積極的に作り出します。そして、こどもの権利が守られ、生かされる施策を具体的に進めることで、こどもだけでなく、すべての町民が住みやすい環境を目指します。

二宮町は、この条例を通じてこどもたちとの対話を深め、自然豊かな環境の中、こどもたちの声がいかにされる共生社会の実現のために努力を続けていきます。これからも、こどもも大人もおたがいを尊重し、ともに成長していける町をつくるために、できることから一歩ずつ進めていきます。

二宮町こどもの権利条例 前文案

わたしたちが暮らすこの二宮町には、吾妻山や相模湾に代表される豊かな自然と、都会過ぎないし田舎過ぎない生活のしやすさ、そして優しい人たちに見守られるあたたかい日常があります。わたしたちは、自然の中で遊んだり、友だちと学んだりできるこの町が好きで、「これからもここで暮らしたい」と思っています。

それでも、毎日の暮らしの中には、うれしいことや安心できること、楽しいことだけでなく、疑問に思うことやもやもやすることなどもあり、さまざまなことを感じながら生きています。

家では、ゆっくりできる時間や安心できる場所がある一方で、「こどもだから」と決めつけられたり、自分の思いをうまく聞いてもらえなかったりすることがあります。学校では、楽しい授業や友だちとの時間をとても大切だと感じっていますが、理由がよく分からないまま決められたルールや、自分たちでは変えられないしくみにもやもやすることがあります。公園や地域では、自由に遊びたいのに声の大きさや遊び方を制限されたり、安全のためと言われながらも不便や不満を感じることもあります。

この町が好きで、「これからもここで暮らしたい」と思っているからこそ、わたしたちもこの町の一員として、自分たちの暮らしに関わることについて意見を言い、理由を聞き、いっしょに考え、いっしょに決めていきたいと願っています。

わたしたちは、一人ひとりが大切にされ、自分の思いを表し、参加しながら成長する権利を持っています。そして、わたしたちこどもは守られるだけの存在でありたくありません。自分の考えを持ち、選び、挑戦し、失敗しながら成長していきたいです。そのためには、安心して過ごせる場所、自分の気持ちを話せる相手、そして自分の意見が大切にされる環境が必要だと思います。

わたしたちは、こどもも大人もおたがいを尊重し、年齢に関係なく一人ひとりの声が大切にされる町を目指します。そして、理由をきちんと伝え合い、決まりごとはいっしょに考え、こどもがのびのびと自分らしくらせる二宮町をつくっていきます。

こどもも大人もこの思いを大切に共有し、すべてのこどもの権利が守られ、尊重され、いかされる町を実現するために、この条例を定めます。